

ふれあいネットワーク

県社協ニュース

令和元年12月1日 (第235号)

発行 社会福祉 熊本市社会福祉協議会  
法人

熊本市中央区南千反畑町3-7 / TEL (096) 324-5454  
<http://www.fukushi-kumamoto.or.jp/>

## いわき市社会福祉協議会へ本会から応援職員を派遣 ～台風15号及び19号～

台風15号及び19号は関東、東北地方など広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。被災された方々とそのご家族の皆様方には心よりお見舞い申し上げます。被災地社協は復旧に向けて災害ボランティアセンターを設置し、多くのボランティアによる支援活動が行われています。また、災害救助法が適用された地域で被災した世帯に対し、当座の生活維持を支援するための生活福祉資金緊急小口資金(特例措置)の貸付けが開始されました。特に被害が大きかった宮城県、福島県、茨城県、長野県の4県社協から全社協を通じて各ブロック幹事社協に受付業務の協力要請があったことから、九州ブロックは福島県のいわき市社協を支援することとなり、本会からは第1クール(11月18日～22日)に1名の応援職員を派遣しました。

## 福祉職への人材確保をめざして ～福祉の就職総合フェア2019を開催～

11月4日(月)に、KKRホテル熊本で「福祉の就職総合フェア2019」を開催しました。この催しは福祉職への就職を希望する求職者(学生を含む)と、高齢・障がい、保育・児童分野の事業所との面談の機会を設けることを目的としたものです。当日は福祉関係施設59法人のブースに、85名の求職者の参加がありました。また、今回は新たな試みとして、面談会の前に事業所の職場説明会(プレゼンテーション)を行い、1分間の中で趣向を凝らした事業所のPRポイントを担当者から発表していただきました。



【各ブースの面談会の様子】

その後に行われた合同面談会では、参加者がプレゼンテーションに興味を持った事業所のブースを回り、熱心に説明を聞きながら、求人の詳細や働き方の相談をしていました。事業所の特色を知ることによって、就職意欲も高まり、さっそく見学や再面接を希望するなど、多くの方が就職に向けての一步を踏み出していました。

また、各種相談コーナーでも、資格取得の方法や就職活動について相談員に尋ねる姿があり、参加者の福祉職への就職意欲を感じました。

## 成年後見制度の実務を学ぶ ～法人後見従事者・市民後見人養成研修会(専門編)～

10月4日(金)、30日(水)、11月13日(水)、27日(水)の全4日間、県総合福祉センターで「法人後見従事者・市民後見人養成研修会」を開催し、市町村社協等から12名が参加しました。

4日間のプログラムでは、家庭裁判所や弁護士、司法書士、社会福祉士等を講師として、「民法の基礎(財産法・家族法)」や「成年

後見制度の実務(身上監護・財産管理)」についての講義、事例検討を通じた財産目録や収支予定表の作成などの演習を行いました。最終日の「後見活動の実際(実践発表)」では、熊本市社協の白石氏、同社協 後見協力員の竹下氏、山鹿市社協の木庭氏、同社協 後見支援員の高崎氏から、法人後見事業の運営体制や被後見人への支援に関する実情と課題、法人後見従事者としてのやりがいや苦労話等について発表がありました。4日間を通して、積極的に意見交換や情報共有を行い、後見業務について学び、考える研鑽の場となりました。

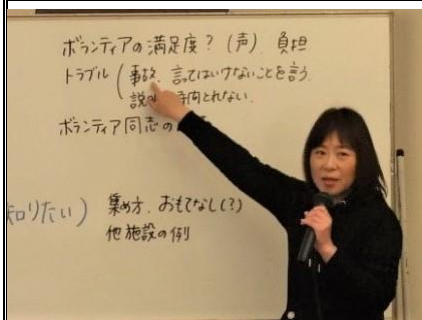


【実践発表の様子：熊本市社協】



【実践発表の様子：山鹿市社協】

## ボランティアコーディネーションを学ぶ！～社会福祉施設ボランティア活動推進研修会～



【講師の遠山昌子氏】

11月22日(金)、KKRホテル熊本で社会福祉施設ボランティア活動推進研修会を開催し、県内の福祉施設等のボランティア担当職員計32名が参加しました。

ボランティア受け入れのポイントとして、施設のインフラ整備や、人材マネジメント、オリエンテーションに盛り込む要素やリスクマネジメント等について講義・演習がありました。

参加者からは、「現在はボランティアを受け入れていないので、難しいところもあったが、イメージが湧きとても参考になった。これを機にボランティアについて深く学びたい。」「ボランティアと実習生は違うのだと分かり、勉強になった。」などの意見がありました。

## 社協の役割や使命について考える ～市町村社協新任職員研修会～

11月19日(火)・20日(水)の両日、荒尾市社協で「市町村社協新任職員研修会」を開催し、23名が参加しました。

1日目は、本会地域福祉課から、社協の設立背景や法的根拠、組織体制や主要事業等について説明を行いました。続いて、荒尾市社協管理課長補佐兼地域福祉係長 平川喜晴氏から、荒尾市社協の組織・活動と重点事業について説明がありました。

2日目は、認知症カフェ、ささえあい活動、介護予防貯金体操、障がい者支援の4つのコースに分かれて、荒尾市社協が取り組まれている事業を視察後、全体で研修の振り返りを行いました。



【荒尾市社協 平川氏の講義】

## 会計監査チェック項目等について理解を深める ～市町村社協会計担当者研修会～



【講師の鈴木俊昭氏】

11月15日(金)、桜の馬場城彩苑で「市町村社協会計担当者研修会」を開催し32名が参加しました。

講師には、兵庫県立大学大学院客員教授 鈴木俊昭氏を招き、はじめに会計基準改正の動向や、昨年度全社協で実施された会計業務等における全国一斉点検結果、最近の不祥事案等について情勢報告をいただきました。

その後、指導監査ガイドライン会計監査チェック項目についてのポイントを御講義いただきました。

最後にグループごとに日頃の会計業務についての意見交換を行い、参加者からは、「他社協のチェック体制や状況がわかり参考になってよかった。」などの意見がありました。

## 社会福祉充実残額について学ぶ ～社会福祉法人会計実務研修会を開催～

11月20日(水)、KKRホテル熊本で「社会福祉法人会計実務研修会」を開催し、社会福祉法人の会計担当や事業所の事務担当者等224名が参加しました。

研修会では、本会の社会福祉法人経営相談事業専門相談員で公認会計士の立石和裕氏が、社会福祉充実残額のお考え方やその算出方法等について講義と質疑応答を行いました。

平成29年4月1日以降、社会福祉充実残額が生じる場合、社会福祉法人は社会福祉充実計画を策定し、これに従って、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、当該残額を計画的かつ有効に活用していくことが求められており、今回の研修会では具体的なQ & Aを交えながら解説していただきました。



【専門相談員立石氏の講義】

# 各課トピックス

\* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆インフルエンザの感染予防に努めましょう◆ 12月～3月(ピークは1～2月)は季節性のインフルエンザが流行します。 予防接種、手洗いやマスク着用、睡眠を十分にとる、バランスのよい食事をとるなど、しっかりと感染予防に努めましょう。 詳しい対策については、厚生労働省ホームページの「インフルエンザ(総合ページ)」をご覧ください。</p>	<p>◆地域の底力向上研修会のご案内◆ 期 日 甲佐町生涯学習センター 1月15日(水) 宇城市老人福祉センター 1月16日(木) 阿蘇保健福祉センター 1月17日(金) 時 間 13:15～16:00 テーマ 「震災からの復興と豊かな地域づくり」 講 師 宮城県サポートセンター支援事務所 眞壁 さおり 氏</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆ソウェルクラブ会員交流事業のご案内◆ 事業名 食事会 桃花源本店本格中華コース堪能 期 日 1月24日(金)・2月14日(金) 会 場 熊本ホテルキャッスル 定 員 各50名 参加費 3,000円(通常価格12,000円) 申込期日 12月中旬予定 * 詳細は、会員事業所に別途ご連絡します。</p>	<p>◆生活福祉資金相談等体制整備事業 配置相談員会議のご案内◆ 日 時 12月16日(月)10:00～12:00 内 容 相談員業務について講義とグループワーク ◆市町村社協生活福祉資金 事務担当職員等研修会のご案内◆ 日 時 12月16日(月)13:00～16:00 内 容 債権管理についての講義と事務説明等 ※ 会場は総合福祉センター5階 研修ホール</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆介護の仕事「基礎講座」のご案内◆ 介護未経験者などを対象に、介護に関する基本的な知識を学ぶことを目的として開催します。 日 程 1月25日(土) 13:00～16:15 定 員 各20名 費用 無料 会 場 県総合福祉センター3階 第4会議室 申込期限 1週間前まで ※ 詳細は本会ホームページをご覧ください。</p>	<p>◆利用状況のお知らせ◆ 令和元年10月末現在、794名(熊本市を除く)の方が、地域福祉権利擁護事業を利用されています。 その内訳は、認知症高齢者が318名(40%)、知的障がい者が228名(29%)、精神障がい者が225名(28%)、その他が23名(3%)となっています。 また、平成31年4月から令和元年10月までの契約締結件数は95件(熊本市を除く)で、県内全ての市町村で本事業が実施されています。</p>
ボランティアセンター	ご 案 内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	
<p>◆ビデオライブラリーのご案内◆ ボランティアセンターでは、社会福祉の啓発やボランティア活動の参加・促進を目的として、福祉関係DVDビデオの貸し出しを行っています。 ビデオソフトの種類や貸し出しにあたっての注意事項等は、本会のホームページ「書籍(福祉の本)・ビデオライブラリー」に掲載してありますので、ご確認の上お申し込みください。</p>	<p>◆福祉経営相談室をご利用ください◆ 社会福祉法人や社会福祉施設の経営においては、様々な課題やトラブルが発生します。このような経営課題に対して3名の専門相談員が、秘密を厳守し、無料で適切なアドバイスを行います。 【来所相談 次回開設日時】* 予約が必要です。 ○社会保険労務士 12月3日(火) 13:30～16:00 ○公認会計士 12月10日(火) 13:00～16:00 ○弁護士 12月17日(火) 13:30～16:00 *お問い合わせ・予約は、施設福祉課へご連絡ください。</p>